一般質問（要旨）　9月4日

区民が安全安心して暮らせる練馬の実現を

練馬区議会自由民主党

小林（こばやし）　みつぐ

◆区長の基本姿勢について

問 ①75万区民の命と財産を守る基本的な考えは。②参与の選任手続を条例化し、説明責任を果たす考えは。

区長 ①災害対応の先頭に立ち、皆様と力を合わせて命と暮らしを守るため危機に立ち向かう決意。②条例化は考えていない。適切に制度を運用。

◆財政・補正予算について

問 ①キャッシュレス決済ポイント還元事業は複数事業者が利用できる体制で早期実施を。②学校移動教室の無償化等の考えは。③今後の学校統合の考えは。④ふるさと納税返礼品を実施する場合は区内産業界と全庁を挙げた検討を。

区長 ①実施に必要な財源の確保は困難。国等の動向を注視。②無償化に向け検討。③実施計画に基づく統合・再編は一旦立ち止まり、地域の方々とともに考える。**副区長** ④あらゆる選択肢を検討。意見を伺いながら進める。

◆防災対策の充実について

問 ①区長の災害対応への考えは。②消防団への運営費補助金を見直す考えは。③中村橋駅北側関連側道の未整備区間整備の考えは。④救助袋避難訓練に要する学校予算増額の考えは。⑤区職員の過重労働対策の取組は。⑥産業医の処遇改善の検討は。

区長 ①首都直下地震への備えや水害対策を一層進める必要がある。②活動実態に見合った支援を行う。**都市整備** ③都に早期具体化を要請する。**教育長** ④必要な予算の確保に取り組む。**人事戦略** ⑤産業医等による体調確認等を実施。⑥適切な報酬額を検討。

◆総合体育館の改築について

問 改築に向けての区の意気込みと決意は。

地域文化 9年度にかけ基礎調査実施。事業手法等を検討。

◆大江戸線の延伸について

問 大江戸線延伸推進基金を積み増し、延伸とまちづくりを進めるべきでは。

区長 基金は計画的に積み増す。**都市整備** 「延伸まちづくりデザイン」を策定する。

◆地区祭について

問 ①区職員が積極的に地域に関わり地域づくりを進める考えは。②地域振興課と青少年課の2課に分かれた体制を見直し、統合整理すべきでは。

地域文化 ①地域住民が主体となり取り組む活動を後押しできる体制の整備が必要と考える。②分かりやすくより効果的な組織等の整備に努める。

◆清掃リサイクル事業について

問 ①町会・自治会の集団回収報奨金の増額を。②朝のコンテナ等設置の課題解決を。

区長 ①報奨金単価の見直しを検討。**環境** ②負担軽減に向け事業者と協議している。

◆教育環境の整備について

問 過大規模校の解決に向け、9年からの中村小学校改築の基本設計は慎重な検討を。

教育長 まちづくり部門と連携し大規模開発等の情報把握に努め、適切な教室数を確保。

◆区長の基本姿勢について

問 ①認知症カフェ実施店舗の拡充を。②5歳児健診実施後の支援体制整備を。③災害時に配慮が必要な方向けにトイレ等が使える多目的支援カーの導入を。④キャッシュレス決済ポイント還元事業等の物価高騰対策実施を。

区長 ①協力いただける事業者の裾野を広げる。②保健、福祉、教育、子育て分野が連携し切れ目のない体制構築に取り組む。**危機管理** ③避難拠点では災害用トイレ等の備蓄を行うことが有効と考える。**企画** ④国や都の動向を注視。

◆災害時の受援について

問 ①受援計画における受援の枠組みは。必要職員数を把握する体制の構築を。②応援職員の受入れ体制の整備状況は。受入れ訓練の実施を。

危機管理 ①業務継続計画等で要請・受入れ手順等をまとめている。受援本部で調整し要請。②受援本部等で受入れ後、配置。今後訓練を拡充。

◆酷暑対策について

問 ①公共空間と区道への暑さ対策を。②登下校時の日傘活用等をガイドラインに示すべき。学校建物の断熱対策を。

健康 ①他自治体の取組を踏まえ研究。②ガイドラインは適宜見直す。長寿命化改修に向けて、最適な手法を検討。

◆行政AI活用について

問 ①専門人材の確保や育成による推進体制の構築を。②AI活用基本方針策定を。③自動音声対応システムや画像によるごみ分別案内の導入を。

副区長 ①ICT職採用や研修の充実等実施。②DX推進方針を見直し、年内に示す予定。**企画** ③十分な検証が必要。先行自治体の取組を注視。

◆強度行動障がいについて

問 子育て支援講座の夜間・土日開催や父親向け講座の実施を。子どもの成長段階に応じて学べるプログラム整備を。

教育長 講座は土日も開催。父親向けの講座も実施。各種講座や事業の充実を図る。

◆教育について

問 ①デジタル教科書の選択判断は。②AI活用に伴うリスクへの対応は。③教員・児童生徒へ情報活用能力研修を。

教育長 ①紙、デジタル双方の利点を踏まえ、児童生徒にとって最適な学習環境を構築。②③区独自のガイドラインに基づき研修や指導を実施。

◆平和推進事業について

問 ①若者に参加の働きかけを。②パネル展の工夫・改善と語り部の出張講座活用を。

総務 ①学校等へ周知や動画を配信。②アンケートや他自治体を参考に充実に努める。

進めよう、区民第一主義！

練馬区議会自由民主党

上野（うえの）　ひろみ

◆区長の基本姿勢について

問 区長は区民の声をどう集め、整理し、政策決定につなげるのか。区民の声と自身の判断が異なる場合、何を基準として決断されるのか。

区長 私自身が直接お話を伺う等、丁寧な対話を重ねる。意見が相反しても、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。

◆公共施設等総合管理計画について

問 今後の施設マネジメントにおいて、施設そのものを維持することだけではなく、「地域に必要な機能をどう残すのか」という視点をより明確に位置づけるべきと考えるが、区の見解を聞く。

副区長 地域に必要な機能や防災の観点も含め検討し、社会状況や将来の需要を踏まえたマネジメントに取り組む。

◆スポーツ施設の整備について

問 練馬総合運動場公園の夜間照明整備と少年野球場の抜本的な再整備の考えを聞く。

地域文化 夜間利用は光の影響等、住環境への配慮が必要。少年野球場は補助172号線の整備に合わせ改修。

◆まちづくり条例について

問 施行から20年を迎える「まちづくり条例」について、実態を踏まえ、条例全体を検証する必要性の認識は。条例の目的と運用実態との整合性について総点検を行うべきと考えるが、区の見解は。

都市整備 当初から、多様な主体の協働によるまちづくり制度として運用。現在も有効性は失われておらず、時代の要請に合致した条例と考える。手続の利便性向上、運用面の改善を実施。引き続き、適切な運用に努める。

◆清掃リサイクル事業について

問 製品プラスチックの分別回収・資源化が始まるが、区民への周知の考えは。回収現場が混乱しないための対策は。

区長 各所で住民説明会等や啓発冊子の全戸配布等を行った。回収事業者とは入念に調整しながら準備を進めている。

◆公園整備及び緑道の再整備について

問 ①（仮称）田柄二丁目公園整備と田柄川緑道の再整備事業は一体的に捉え、田柄地域の新たな「みどりの軸」として整備し、相互に連携して地域の魅力を高められたい。②約1年間にわたるワークショップで出された意見を整備計画にどこまで反映するのか。今後の具体的なスケジュールを伺う。

技監 ①両施設は、田柄地域の豊かなみどりや良好な景観形成に資する貴重な空間。地域の皆様との議論を生かし、一体的なみどりのネットワークとして連携させることで、さらなる魅力向上につなげる。②全ての要望の実現が難しい場合は、取り入れる内容と見送る内容、その理由を示す。今年度、基本設計を行い、どちらも来年度に実施設計、10年度の工事着手を目指す。

◆練馬区誕生80周年について

問 ①区長は、将来の練馬区のグランドデザインをどのように描いているのか。②80周年に向けて名誉区民顕彰についてはどのように考えているか。③80周年記念のオリジナルナンバープレートの交付を検討してはどうか。

区長 ①新たな基本構想を策定する。区民が安心して穏やかに暮らせるまちをつくり、みどりに囲まれた静かな環境と地域のにぎわいを共存させたい。②③今後検討する。

◆令和7年度決算と区財政

問 ①今後、公約実現に向け様々な施策を展開していくと考える。そのために強固な財政基盤が必要。現在の経済情勢を踏まえ、今後の財政見通しは。②今回の決算状況をどのように総括しているのか。

副区長 ①歳入は景気変動等により予断を許さず、歳出は硬直化が進んでいる。全施策の効果や必要性を検証し、財源確保や基金・起債の適切な運用に努める。②社会状況の変化に的確に対応しながら必要な施策を推進し、持続可能な財政運営を堅持できた。

◆都市型水災害について

問 ①内水氾濫は短時間で道路が冠水し、避難経路が寸断されるおそれがある。安全な避難に向け、情報発信や避難誘導体制の充実を。②ハザードマップの最新の降雨や被害状況を踏まえた見直しは。

危機管理 ①気象情報をホームページ等で即時発信する。リスクが高まった際は避難行動要支援者に連絡し、避難誘導等を支援。②今後も適時適切に見直す。水災害訓練や出水期前の個別ポスティングにより注意喚起。③排水ポンプ等冠水対策を講じるとともに、注意喚起の看板を設置。冠水時は警察と連携し安全を確保。

◆福祉施策について

問 ①光が丘福祉専門学校は開校から1年半が経ち、2期生も入学した。開校の効果と課題は。②都は民生児童委員への支援充実に取り組んでいる。支援内容と区の対応は。

高齢施策 ①1期生全員を区内事業者への就業につなげた。今後は参加事業者の拡大が必要。**福祉** ②都は活動費を月額3万円に増額、委員を雇用する企業へ協力金10万円を支給。区は活動費増額の補正予算案を提出予定。

◆教育施策について

問 令和10年に豊玉南小学校と豊玉第二中学校へ区内初めての自閉症・情緒障害学級の設置を予定しているが、設置に向けた現在の検討状況は。

教育長 入級手続等の整理や、設置予定校との協議等を行い、円滑な開設に向けた取組を進めている。

あなたの「声」届いてますか！

練馬区議会国民民主党・無所属・都民ファーストの会

山田（やまだ）　かずよし

◆激甚災害と物価高から区民の命と生活を守れ

西野（にしの）　こういち

危機管理 ①業務継続計画等で要請・受入れ手順等をまとめている。受援本部で調整し要請。②受援本部等で受入れ後、配置。今後訓練を拡充。

◆酷暑対策について

問 ①公共空間と区道への暑さ対策を。②登下校時の日傘活用等をガイドラインに示すべき。学校建物の断熱対策を。

健康 ①他自治体の取組を踏まえ研究。②ガイドラインは適宜見直す。長寿命化改修に向けて、最適な手法を検討。

◆行政AI活用について

問 ①専門人材の確保や育成による推進体制の構築を。②AI活用基本方針策定を。③自動音声対応システムや画像によるごみ分別案内の導入を。

副区長 ①ICT職採用や研修の充実等実施。②DX推進方針を見直し、年内に示す予定。**企画** ③十分な検証が必要。先行自治体の取組を注視。

◆強度行動障がいについて

問 ①地域生活支援拠点を軸に人材育成や相談支援事業の充実を。②次期障害者計画に将来的取組や支援等の明記を。

福祉 ①練馬福祉人材育成・研修センターと連携し専門人材育成。また、拠点を核に相談支援体制を構築。②サービス見込み量や支援内容を示す。

◆親育ち支援について

問 子育て支援講座の夜間・土日開催や父親向け講座の実施を。子どもの成長段階に応じて学べるプログラム整備を。

教育長 講座は土日も開催。父親向けの講座も実施。各種講座や事業の充実を図る。

◆教育について

問 ①デジタル教科書の選択判断は。②AI活用に伴うリスクへの対応は。③教員・児童生徒へ情報活用能力研修を。

教育長 ①紙、デジタル双方の利点を踏まえ、児童生徒にとって最適な学習環境を構築。②③区独自のガイドラインに基づき研修や指導を実施。

◆平和推進事業について

問 ①若者に参加の働きかけを。②パネル展の工夫・改善と語り部の出張講座活用を。

総務 ①学校等へ周知や動画を配信。②アンケートや他自治体を参考に充実に努める。

一般質問は、9月4日・7日・8日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。
全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば（区役所北庁舎1階）、区議会ホームページで閲覧できます。

※1スフィア基準…紛争や災害の際の避難所の環境について、一人当たりの居住空間、トイレ設置の割合や男女比等、最低限の基準を定めたもの
※2子どもコミッショナー…行政から独立した立場で、子どもの権利擁護・救済を行う機関

豊渓中の統廃合中止の公約をあきらめるな

日本共産党練馬区議団　島田（しまだ）　拓（たく）

◆区長の基本姿勢について

問 ①豊渓中の統合を進める理由としている子どもへの影響とは何か。②公約を守るのであれば地域との話合いを優先せよ。③豊渓中と旭町小の小中一貫校が難しい理由は。

区長 ①人間関係が構築され、統合を見据えた活動等が進められており、前提の変更は不安や混乱を生じさせるおそれがある。②7月に関係者から直接意見を伺った。③学級数が区の基準に満たないため。

◆防災対策について

問 ①避難拠点において発災後72時間、冷房空間を確保せよ。②長期的に電源を確保する防災電源網の構築を。③避難拠点で1人当たり3.5平米を確保した場合の収容人数等を検証すべきでは。④水害ハザードマップの再検討を。

危機管理 ①非常用発電機と電気自動車等を活用し暑さ対策を行う。②構築には課題が多いと認識。③スフィア基準※1等を踏まえ生活空間の確保に努める。④適時適切に見直す。

◆子ども権利条例について

問 ①子ども※2コミッショナーを設置すべきでは。②子どもの権利条例を制定せよ。

教育長 ①②引き続き、子どもの権利擁護を図っていく。

◆公共の担い手確保について

問 ①公契約条例はいつまでにどんな検討体制で施行するのか。②区発注工事における労務費の調査・確認の検討を。

区長 ①外部有識者等による検討組織で実施時期も含め検討。**総務** ②入札参加事業者に労務費を確認している。都の調査等を踏まえ取組を検討。

◆賃貸住宅の省エネ化について

問 ①不動産会社と連携して住宅の省エネ性能ラベルの普及に取り組め。②空室時の省エネ診断や改修を管理会社等に案内・推奨する取組を。③カーボンニュートラル化設備設置補助金の対象に賃貸住宅も位置づけ、壁・床の断熱改修も加える等充実を。

副区長 ①賃貸住宅所有者等に向けてホームページ等で情報提供。②引き続き丁寧に補助制度等を周知。③現時点で補助の予定はない。国等の動向を注視し適時適切に見直す。

◆地域公共交通について

問 ①既存バス路線を維持・回復させる施策を展開せよ。②バス運転手確保に向け、国と都にどう働きかけてきたのか。③都にバス事業者への直接支援を求めよ。④バス路線維持のため、他自治体との連携を主導すべき。見解は。⑤シルバーパスの一律千円化を。

都市整備 ①交通事業者や都と連携し、路線の維持を目指すとともに、路線再編を行う。②③就業環境の改善のための財政支援等を繰り返し都へ要請したこともあり、都は交通事業者への支援金やバス運転手の居住にかかる補助を実施。④交通事業者の支援は国や都、関係自治体と連携して取り組むべきもの。**高齢施策** ⑤区独自に補助する考えはない。

2040年を見据えた区政課題を問う

練馬区議会自由民主党　笠原（かさはら）　ともこ

◆高齢者施策及び介護保険事業

問 ①第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画をどう検証し第10期に反映するか。②介護人材の確保・育成・定着をどう進めるか。③フレイル予防の目標・役割を整理し、地域包括支援センター等と共有強化を。④低栄養等を早期に把握し、改善への取組を。⑤健康寿命延伸を区政の重要目標とし、区長自ら発信・推進を。⑥富士見台特養跡地について、在宅サービスの継続や2・3階活用、地域利用を含め今後の方向性は。

高齢施策 ①第9期計画の実施状況や昨年度実施した基礎調査の結果等を踏まえ検討。②研修や就職面接会等、区独自の支援を実施。③地域ケア会議等で共有。④講座や高齢者宅訪問等で支援。⑤第10期計画で施策の充実を検討。⑥地域との関係性等を考慮し社会福祉事業団と引き続き協議。

◆就職氷河期世代への支援

問 ①調査で判明した課題と支援策は。②高齢期を見据えた支援を。③社協による伴走型支援が求められるが見解は。

副区長 ①②就労や家族介護等複合的な課題を抱えた方が多く、不安軽減に向けた支援を検討。③効果的な支援に向け、社協と連携し体制強化。

◆障害者福祉について

問 次期計画の課題と重点、区長の考えと覚悟は。

区長 当事者等の声を聴き、サービスの充実、家族への支援強化、人材確保と事業所の事務負担軽減に取り組む。

◆経済対策について

問 ①区内経済・事業者の現状は。②景気対策特別貸付の概要、既存制度との違いは。③過去の特別貸付の効果は。

区長 ①業況や売上げが改善の一方、全業種でコスト上昇により収益圧迫。②売上高や利益率が減少する区内中小企業等を対象に資金調達を支援。融資限度額を引き上げ、信用保証料を全額負担。**産業経済** ③経営の安定化や事業継続を下支えする役割を果たした。

◆地域活動の新たな担い手づくりについて

問 「やってみたい」から新たな活動を生み出す、人づくり・場づくりの仕組みを。

区長 区民協働交流センターの機能拡充を検討する。

◆都営南田中団地の建て替え事業に関するまちづくり

問 ①都との協議の進捗は。②区が都に求めた内容の実現に向け、どう協議を進めていくか。③都と連携し、住民への丁寧な情報提供を。

都市整備 ①②地区計画は都が住民原案をまとめ、区が都市計画決定する。都には地域の声を聴き、真摯に対応すること等を要請。③節目節目で丁寧な説明を都に求める。

◆（仮称）富士見台一丁目公園の整備について

問 地域の声を生かし、長く愛される公園づくりを。

技監 対話プロセスを大切に、基本計画を取りまとめる。

一般質問（要旨）9月7日

誰もが「ここにいていい」と思える練馬へ

インクルーシブな練馬をめざす会　岩瀬（いわせ）　たけし

◆子どもの権利・多様性・多文化共生について

問 ①パートナーシップ・ファミリーシップ条例の制定準備を。②子どもの権利条例制定の工程は。③多文化共生基本方針の早期改定を。

区長 ①先進自治体の制度を参考に検討。**教育長** ②引き続き条約の理念を実現する取組を検討。**地域文化** ③来年度調査を実施し、検討。

◆不登校・LD※3支援について

問 ①適応指導教室は欠席日数によらず利用可と周知を。②校内別室の毎日開室を。③不登校の子の通年無料健診を。④フリースクール利用に区独自助成を。⑤音声教材周知を。

教育長 ①分かりやすく案内できるよう各校に周知。②より効果的な事業展開に向け検討。③年間受診できる環境整備を検討。④区独自の補助を始める考えはない。**教育振興** ⑤効果的な周知方法を検討。

◆学校・学童のトイレについて

問 男女の仕切りが不十分なトイレは、ただちに改善を。

教育振興 状況を確認し、できる限り早期に対策を講じる。

◆教職員の負担と給食について

問 ①国立学校や外国人学校等に通う子に給食費補助を。②部活動指導員の配置で教員が部活動から離れられたか検証を。指導員の研修受講の保障を。③学校栄養士の勤務実態の調査と役割分担の徹底を。

区長 ①区独自に補助対象と要件や処遇等を検討している。今後の動向を注視。

◆包括的性教育と学習環境

問 ①宮崎市を参考に包括的性教育の視点を盛り込んだ統一教案を作成し、モデル校で実施を。②ネオンカラー等、目立つ色のスクール水着の導入を。③小学校でのデジタル教科書の使用は厳格に。法改正を受けて区の方針は。④児童館等への生理用品設置の検討状況は。各庁舎にも設置を。

教育長 ①7年度から全校・園で区独自のプログラムを実施。新たな取組予定はない。②現在の取組状況や教員の意見等を確認し検討。③児童に最適な学習環境を構築。**総務** ④窓口配布やトイレ設置等、施設状況に応じて対応。区庁舎は他自治体を参考に検討。

◆若者政策の充実について

問 ①給付型奨学金創設の検討状況は。②若年女性のための居場所事業「まるく」に移動型ユースクリニックの機能を。③地域貢献と連動した若者向け家賃補助導入の考えはあるか。④地域で活動する若者団体向け補助金の創設を。

区長 ①奨学金利用者等へのヒアリングや他自治体の調査を実施。**総務** ②「まるく」では民間団体と連携した相談支援を実施。**建築・開発** ③考えはない。**教育長** ④活用できる既存制度を周知。

◆ファミリーシップ制度の創設

問 ファミリーシップ制度の早期創設を。

区長 国の動向や当事者の意見等を参考に検討している。

◆高齢者の爪ケアについて

問 介護予防対策として爪ケアの重要性等の啓発を。

高齢施策 適切な知識やケア方法等の普及啓発を検討。

◆まちづくりと暑さ対策

問 ①交差点に大型サンシェードの試行設置を。②喫煙所のコンテナ化を。③ベンチとごみ箱は暮らしやすさに直結する重要なインフラ。私有地等を活用した設置の推進を。

技監 ①安全確保や維持管理等、様々な課題があるため研究。**環境** ②広い設置面積が必要。適地を検討。③ベンチ設置による周辺住民への影響を懸念。事業者へごみ箱の設置を義務づける考えはない。年度光が丘春の風小に設置。中学校への早期設置も検討。

◆地域課題・広域避難について

問 ①大泉学園通りの歩道段差は補修方針等の周知を。②石神井庁舎跡地は高層化しない方針の明確化を。③広域避難計画と移送手段の具体化を。

技監 ①案内看板設置等により周知。**企画** ②容積率等を可能な限り活用する必要がある。**副区長** ③上田市と受入れ体制等について協議を開始。

◆物価高騰対策について

問 ①区独自の家賃補助の見通しは。②補装具の基準額超過分に差額助成を。③日常生活用具の給付限度額を物価に応じ見直す基準の設定を。

区長 ①支援の検討を進める。

福祉 ②他区の状況を踏まえ研究。③本人・家族のご意見を伺い、実勢価格等を踏まえ、必要な支援が届くよう努める。

※3LD…Learning Disabilityの略。学習障害のこと。知的には遅れがないのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するといった学習の一部にだけ不得意がある状態

回答者の略称　企画：企画部長　区政改革：区政改革担当部長　危機管理：危機管理室長　総務：総務部長　人事戦略：人事戦略担当部長　産業経済：産業経済部長
地域文化：地域文化部長　福祉：福祉部長　高齢施策：高齢施策担当部長　健康：健康部長　保健所：練馬区保健所長　環境：環境部長　都市整備：都市整備部長
建築・開発：建築・開発担当部長　教育振興：教育振興部長

新区長と共に描く、練馬の新たなビジョン

練馬区議会立憲民主党　富田（とみた）　けんじ

◆区長の基本姿勢について

問 事業の白紙化等、引き算の話題が先行している。区民が求めているのは立ち止まった先のビジョンである。リーダーとして重要課題をどう決断し、公共施設整備全体をどのような方針で進めていくか。

区長 多様な意見・要望を受け止め、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。持続可能な施設マネジメントに取り組む。

◆美術館再整備について

問 ①計画見直しに当たり、平田氏ら専門家の意見を聞くべき。所見は。②改修と改築をトータルコストで比較検証すべき。所見は。③今後の美術館の価値と役割の認識は。

区長 ①②現況調査の結果や施設の機能、コスト等を勘案し、区民の皆様や必要に応じて学識経験者等の意見も伺い、検討。③鑑賞や参加、創作活動の場や機会の提供等、公共性の高い役割があると認識。

◆図書館の在り方について

問 ①再整備計画が白紙となった今、「これからの図書館構想」の扱いは。②今後の改修や再編において、幅広い世代が交流できるサードプレイスの視点をどう反映するか。

教育長 ①構想は今後の図書館には欠かせないもの。将来像は変わらない。②貫井図書館へのカフェ併設等を検討。誰もが気軽に立ち寄れる情報拠点となるよう取り組む。

◆防災・熱中症対策について

問 ①避難拠点となる体育館の空調設備について、停電を見据えた非常用電源確保等、具体的な取組は。②気象警報等の新基準を踏まえ、水害時の避難行動の周知と対策の強化を。③猛暑下は区行事の開催時期の柔軟な見直しを。

危機管理 ①学校改築等の機会を捉え、太陽光発電設備や蓄電池の導入等、電源確保の充実に努める。②引き続き「防災の手引」等を活用し、様々な機会を通じて周知啓発に取り組む。**健康** ③猛暑の影響と個々のイベント状況を踏まえ、対策を講じる。

◆ふるさと納税とシティプロモーションについて

問 ①多額の住民税流出を防ぐため、今度こそ返礼品導入は総合計画や教育ビジョンに包括的性教育の実施を明記し、学校・家庭・地域社会が一体となって取り組んでいる。区も総合計画等に位置づけるべきでは。③大人の学びも重要。講座実施の考えは。

教育長 ①性暴力等防止対策評価委員会の意見を踏まえ、健全な生育と利用者の安全性、環境との調和を図りながら、樹木ごとの特性に応じた剪定や維持管理に取り組んでいる。

◆防災について

問 全ての避難拠点運営連絡会結成から20年以上が経過し、担い手が高齢化。世代交代には区の支援が必要。どのように取り組んでいるのか。

危機管理 ねりま防災カレッジ受講生の協力を得ているほか、災害ボランティア登録制度を設けている。訓練等の参加者にも協力を働きかける。

◆包括的性教育の推進について

問 ①毎年改善するとした「人権を基盤とした教育プログラム」の改善状況は。②宮崎市の決断を。②返礼品を契機に「アニメと漫画のまち」を力強く推進する心意気はあるか。

副区長 ①あらゆる選択肢を排除せず検討。意見を伺いながら丁寧に進める。**地域文化** ②アニメや漫画は区の強みであり、取組を強化していく分野と認識。今後は充実を図る。

◆ベーシックサービスについて

問 修学旅行費等の無償化を教育分野における実質的なベーシックサービスの推進として発信すべき。今後はどのような分野へと拡充し、社会全体で子どもたちを支えるか。

企画 子育て世帯の負担軽減が目的で、ベーシックサービスの一環とは考えていない。今後も国等の施策動向を注視し、世帯の負担軽減に努める。

区民との対話による新しい区政に転換を

生活者ネットワーク　やない　克子（かつこ）

◆区長の基本姿勢について

問 ①基本構想策定に当たり区民同士が議論を重ねる機会が重要。考えは。②子どもの権利条例制定を公約に掲げた区長が就任し、多くの区民が期待を寄せている。条例制定についての考えは。

区長 ①（仮称）練馬区基本構想検討会議で議論を重ねる。区民同士の対話機会の創出について手法を研究。**教育長** ②引き続き、子どもの権利を保障する取組について検討。

◆命を守るみどり施策について

問 ①樹冠被覆率※4をみどり施策の指標に位置づけ、将来的な目標値の設定を。②樹冠を意識した街路樹の植栽・剪定・維持管理を。

環境 ①樹冠被覆率の算出は困難なため指標とする考えはないが、国の検討状況等を注視していく。**技監** ②樹木の健全な生育と利用者の安全性、環境との調和を図りながら、樹木ごとの特性に応じた剪定や維持管理に取り組んでいる。

◆防災について

問 全ての避難拠点運営連絡会結成から20年以上が経過し、担い手が高齢化。世代交代には区の支援が必要。どのように取り組んでいるのか。

危機管理 ねりま防災カレッジ受講生の協力を得ているほか、災害ボランティア登録制度を設けている。訓練等の参加者にも協力を働きかける。

◆包括的性教育の推進について

問 ①毎年改善するとした「人権を基盤とした教育プログラム」の改善状況は。②宮崎市の話題が先行している。区民が求めているのは立ち止まった先のビジョンである。リーダーとして重要課題をどう決断し、公共施設整備全体をどのような方針で進めていくか。

区長 多様な意見・要望を受け止め、どちらかに偏ることなく、区民生活に何が最善か熟慮を重ねたい。持続可能な施設マネジメントに取り組む。

◆美術館再整備について

問 ①計画見直しに当たり、平田氏ら専門家の意見を聞くべき。所見は。②改修と改築をトータルコストで比較検証すべき。所見は。③今後の美術館の価値と役割の認識は。

区長 ①②現況調査の結果や施設の機能、コスト等を勘案し、区民の皆様や必要に応じて学識経験者等の意見も伺い、検討。③鑑賞や参加、創作活動の場や機会の提供等、公共性の高い役割があると認識。

◆図書館の在り方について

問 ①再整備計画が白紙となった今、「これからの図書館構想」の扱いは。②今後の改修や再編において、幅広い世代が交流できるサードプレイスの視点をどう反映するか。

教育長 ①構想は今後の図書館には欠かせないもの。将来像は変わらない。②貫井図書館へのカフェ併設等を検討。誰もが気軽に立ち寄れる情報拠点となるよう取り組む。

◆防災・熱中症対策について

問 ①避難拠点となる体育館の空調設備について、停電を見据えた非常用電源確保等、具体的な取組は。②気象警報等の新基準を踏まえ、水害時の避難行動の周知と対策の強化を。③猛暑下は区行事の開催時期の柔軟な見直しを。

危機管理 ①学校改築等の機会を捉え、太陽光発電設備や蓄電池の導入等、電源確保の充実に努める。②引き続き「防災の手引」等を活用し、様々な機会を通じて周知啓発に取り組む。**健康** ③猛暑の影響と個々のイベント状況を踏まえ、対策を講じる。

◆ふるさと納税とシティプロモーションについて

問 ①多額の住民税流出を防ぐため、今度こそ返礼品導入は総合計画や教育ビジョンに包括的性教育の実施を明記し、学校・家庭・地域社会が一体となって取り組んでいる。区も総合計画等に位置づけるべきでは。③大人の学びも重要。講座実施の考えは。

教育長 ①性暴力等防止対策評価委員会の意見を踏まえ、資料追加や重複部分の整理等改善を行った。②他の計画への記載方法は今後検討。③さらなる展開は今後関係部署と連携して検討。

◆香害、化学物質過敏症への対応について

問 ①教育委員会から学校長宛てに香害に関する対策を依頼しているが、学校間で保護者への情報提供に差がある。学校における情報提供の徹底と周知啓発の考えは。②芳香剤などの化学物質により公共施設のトイレを使えない当事者がいる。無香料化の取組を。

教育長 ①昨年度は保護者周知の文書例を示し、各校に積極的な周知を依頼した。引き続き、周知啓発に取り組む。**保健所** ②今後も国や業界団体の動向を注視しながら、職員や区立施設の管理者等に対して香りへの配慮について周知に努める。

◆外環の2の事業認可について

問 事業認可を区長はどう受け止め、住民に対応するか。

都市整備 都に対し、詳細設計においても、区や関係者と十分な協議を行うよう求める。

※4 樹冠被覆率…高木の枝葉で覆われた土地の面積割合を示すもの

一般質問（要旨）9月8日

税金を使って、区民の生活はどう変わった？

練馬区議会無所属　しもだ　玲（れい）

◆新しい区政のかたちについて

問 ①区長として見直すべき行政慣行は。②課題を次年度予算に反映する仕組みは。予算編成の優先順位の判断基準は。③区税の流出対策として、ふるさと納税返礼品を含む寄附獲得策の検討を。④所得制限の撤廃や段階給付等を比較し、支援基準の研究を。

区長 ①説明や手続の改善、デジタル技術の活用等、工夫の余地。職員と話し合い見直す。②決算特別委員会等、議会での議論を踏まえ、成果や課題を検証。本当に必要なものを考え、予算編成に取り組む。**副区長** ③区民サービスの安定的な提供と練馬の魅力発信の観点から、あらゆる選択肢を検討。**企画** ④予算編成過程で個々の制度を検証し、必要に応じて見直している。

◆物価高と暮らしについて

問 ①区民の家計と区内中小事業者への追加支援を。②もののづくり・創業を支える3Dプリンター等を活用できる拠点の複数設置の検討を。

区長 ①迅速に支援が行き届くよう柔軟かつ機動的に対応。

産業経済 ②有用性や整備について産業団体の意見を伺う。

◆大江戸線延伸の負担について

問 延伸推進でも、財政面は不断の検証が必要。約200億円の区負担の根拠と上振れリスク、基金等の財源構成、需要創出についての考えは。

都市整備 国補助金や都事業費等、区負担により、物価変動を踏まえ採算性を確保。基金を積み増し、特定財源も確保。需要推計等は都が行う。

◆区民が主役の地域づくり

問 ①区民参加型パブリックアートのモデル実施を。②ボランティア活動証明制度のモデル実施を。

地域文化 ①誰もがまちなかでアートを感じられる取組を進める。②参加の契機としての証明書発行は考えていない。

◆いざというときの防災

問 帰宅困難者対策と、宿泊を伴う防災訓練の充実を。

危機管理 8月に警察等と発災時の対応等を確認。引き続き対策を強化。宿泊訓練は取組を紹介し、共有している。

◆治療を支える制度について

問 ①子どもの付添い入院の実態とニーズを把握し、対応を。②継続的な通院が必要で既存制度の支援が届かない区民への移動支援等の検討を。

健康 ①支援策は必要に応じ医療機関等と協議。②当事者の意見を伺い、支援を進める。

◆猛暑と子どもの遊び場

問 既存施設等を活用した、屋内遊び場の展開を。

教育長 地区区民館改修の際に子どもたちの居場所を充実。

◆身近な移動と公園について

問 ①シェアサイクル事業はサービス安定性や利用者負担等を踏まえ、事業の在り方の判断を。②ドッグラン設置は「研究」からモデル実施を。

技監 ①利用実績等の検証結果を踏まえ、検討。**健康** ②課題を踏まえ、引き続き研究。

練馬区の明るい未来・住みやすさ守る区政

練馬区議会日本維新の会　吹田（すいた）　ひでとし

◆防災対策について

問 練馬区総合治水計画の見直し時期の目途は。

技監 都は現在、河川流域ごとの豪雨対策の改定を進めている。示される流域対策の目標量を踏まえ見直しを行う。

◆教育・子育て政策について

問 ①子どもの自殺対策に向けたプッシュ型支援の検討状況は。②学校ごとのタブレット持ち帰り状況等を調査し、通学時の重量負担の実態把握を。③産後ケアの予約が取りづらい。区の事業者支援は供給量増加に結びついたか。

教育長 ①児童生徒の悩みや心の変化を把握する効果的な対策について、国や都の動向等を注視し検討。②柔軟な対応を各校に求めている。学校訪問等の機会を捉えて取組状況を把握し指導する。**健康** ③助産師会等と協議を重ね、実態に即した加算を実施。事業者数は23区最大となった。

◆高齢者・障害者福祉について

問 ①訪問歯科診療でも区の歯科健診が受けられる仕組みの導入を。②重症心身障害者が週5日通所できる体制整備を。③練馬光が丘病院の医療的ケア児者の短期入所の対象を16歳以上へ拡大を。

健康 ①歯科医師会と協議を進める。**福祉** ②体制等が整った施設から可能となるよう取り組む。③利用できる施設が少ないと認識。区内医療機関に対し、実施を働きかける。

◆まちづくり・住宅・交通政策について

問 ①家賃補助制度はどのような制度設計を検討しているか。②中村橋駅の交通結節機能改善に向け検討し、ビジョンを示すべきでは。③補助133号線の整備と沿道まちづくりを一体的に捉え、地域とともに土地利用の検討を。④区立公園でのボール遊びや犬を連れての利用も検討するか。

区長 ①引き続き検討を進める。**技監** ②③まちづくり検討会を再始動し、地域の皆様とともに課題を検討。④様々な意見が寄せられている。特徴や地域の実情に応じ多様に利用できる公園を増やしたい。

◆新しい区政運営と行財政改革について

問 ①練馬区参与はどのような重要施策に進言・助言し、どのような役割を担うのか。②全事業について成果等を把握・公表し、一定基準に該当する事業を重点評価する二段階の行政評価制度構築を。③練馬区独立80周年記念のブルーインパルス飛行に向け、防衛省等の関係機関に相談・要請し、実現可能性の検討を。

区長 ①参与は判断等を補佐する立場。地域課題や区民ニーズを区政運営にどう生かすかについて意見を伺っている。

区政改革 ②効率的で質の高い行政運営と、透明性が高く開かれた区政の両立に向け、効果的な行政評価の在り方を検討する。③現在、ブルーインパルスの展示飛行を国に要望する準備を進めている。

一般質問は、9月4日・7日・8日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。
全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば（区役所北庁舎1階）、区議会ホームページで閲覧できます。